

安田女子大学・安田女子短期大学 まほろばメール利用規約

2010年2月18日 制定

（ 目 的 ）

第 1 条 安田女子大学・安田女子短期大学まほろばメール（以下「本サービス」という。）は、安田女子大学・安田女子短期大学（以下「本学」という。）および唐花会と本学卒業生・修了生（以下「卒業生等」という）との双方向の情報発信および卒業生等相互間の交流を促進・支援するために利用することを目的とする。

（ 本サービスの内容 ）

第 2 条 本サービスは、Google 社が提供する Google Apps for Education を利用した電子メールサービスである。したがって本サービスで提供される内容は Google Apps for Education の提供内容と同一であり、Google Apps for Education のサービス仕様の変更又は停止された場合はそれに準ずるものとする。

2 本学および唐花会から本学卒業生等に対して、定期又は不定期に学校情報、学科情報等の送信を行うことがある。

（ 遵守義務 ）

第 3 条 利用者は、本規約を遵守する義務を負うものとする。

（ 利用者の規約受諾等 ）

第 4 条 利用者が本サービスを利用したときは、本規約の内容を承諾したものとみなす。本規約が変更された後の利用についても同様とする。

（ 利用料等 ）

第 5 条 本サービスの利用料は、無料とする。ただし、利用者が契約しているプロバイダーへの接続料、電話料金等については、利用者の負担とする。

（ 利用者の禁止行為 ）

第 6 条 利用者は、本サービスを利用する上で、次に掲げる行為をしてはならない。利用者がこれらの行為を行った場合においては、本学は当該利用者に対し本サービスの利用を停止することがある。

- (1) 本サービスにおいて提供されるメールアドレスを利用し、本人であることを偽ったり、他人へ損害を与える行為
- (2) 1 通当たり 20 メガバイトを超えるデータを送信する行為
- (3) 本サービスにおいて提供されるメールアドレスを他人に利用させる又は他人のメールアドレスを不正に利用する行為
- (4) 営利目的、宗教活動、政治活動等のために利用する行為
- (5) マルチ商法、ネズミ講、ネットワークビジネス等に利用する行為
- (6) 公序良俗又は一般常識に著しく反する行為
- (7) 他人の著作権、財産、プライバシー等を侵害する行為
- (8) 他人を誹謗中傷する行為
- (9) 本サービス及びインターネット上の各種サービスの運営を妨げる行為
- (10) 本学の信頼を損なう行為（スパムメール（迷惑メール）の発信及びこれに準ずる行為を含む。）
- (11) 日本国又は外国の法令等に反する行為
- (12) その他本学が不適当と判断する行為

（ リスク、損害等 ）

第 7 条 本サービスにより発生し得るリスク等は、全て利用者が負うものとする。

2 前項に規定するリスクには、次に掲げるものを含む。

- (1) スパムメール及びウィルスに感染したメールに係るリスク
 - (2) 利用者の設定ミスによるネットワーク通信量の異常増大等により発生する損害等（利用者の故意又は過失によるものを含む。）
- 3 スパムメール及びウィルスなどの配信に対しては、自己削除することを原則とする。
- 4 受信したメールの信頼性、正確性については自己判断とする。
- 5 本サービスの利用により他人に損害を与えた場合においては、当該損害を与えた利用者の責任及び費用負担により解決するものとする。
- 6 本サービスの利用により本学に損害を与えた場合においては、本学は当該利用者に対し損害賠償等を求めることがある。
- 7 本サービスを利用することにより発生した利用者の損害に対しては、本学は一切責任を負わない（メールサーバの障害等による電子メールの遅配、誤配、消失、損傷や送信の失敗等により発生する損害を含む。）ものとする。

- 8 本学の都合により本サービスを終了する場合に発生した損害については、本学は一切責任を負わない。
- 9 利用者同士又は利用者と第三者との間で生じた紛争について本学は一切責任を負わない。
- 10 利用者の同一性については、ユーザー名及びパスワードをもって確認する。本学は、それらが第三者によって悪用された場合に生じる不利益、損害については一切責任を負わない。

（ 守秘義務等 ）

第 8 条 本サービスの利用者の情報（電子メールの内容も含む。）に対し、本学は守秘義務を負うものとする。ただし、万一ハッカー等第三者の行為により利用者の情報が流出した場合においては、本学は一切責任を負わない。

2 前項に規定する利用者の情報には、電子メールの誤配（送信先の設定ミス等）により本学が偶然にも知り得た情報も含む。

3 本サービスの利用者情報の開示先は本学職員および唐花会事務局に限定し、これ以外に対して当該利用者の承諾なしに開示することはできない。

4 本サービスで付与されるメールアドレスは学籍番号を使用している。したがって、同級生をはじめとする学校関係者は卒業生等のメールアドレスを特定又は推測することが可能であり、利用者はこのことについて承諾するものとする。

5 本サービスに関わる登録者数などの統計情報は、本学が必要と判断した場合、それを公開することがある。

6 メールデータ等、本サービスに関わるすべての情報は Google 社のサーバーに保存される。またメールデータは専用装置にて処理され、内容に応じた広告が自動表示される。利用者はこのことについて承諾するものとする。

（ 特別の場合の情報開示 ）

第 9 条 前条第3項の規定にかかわらず、本学が犯罪的行為に結びつくと判断し、関係当局から書面等で情報の開示要求があった場合においては、当該情報を開示することができる。

（ 本サービスの一時停止及び終了 ）

第 10 条 本学は、保守作業、停電、天災等の不可抗力その他の理由により本サービスの提供を停止することがある。

2 本学は、諸般の事情により、何らの予告なしに、本サービスを一時的に停止し、又は終了することがある。

3 第 1 項に規定する本サービスの停止に関しては、原則として事前に周知するものとするが、緊急時又は不可抗力のときはこの限りでない。

4 前 3 項に規定する措置により利用者に不利益となる事態が発生した場合における利用者の損害に対しては、本学は一切責任を負わない。

（ 所轄裁判所 ）

第 11 条 本サービスに係る係争問題が発生したとき、その所轄裁判所は広島地方裁判所とする。

（ 規約の変更 ）

第 12 条 本学は、利用者の承諾を得ることなくこの本規約を変更することができる。

（ 利用者に対する周知方法 ）

第 13 条 利用者への規約変更等の周知は、本サービス Web ページを通じ行うものとする。

（ 本サービスの解除等 ）

第 14 条 利用者が次に掲げる事項に該当する場合においては、本学の全責任は免責とし、当該利用者に係る本サービスの登録を解除する。

- (1) 本規約を逸脱して利用した場合
- (2) 本学又は本学のシステムに対し損害を与えた場合、又は与えるおそれのある場合
- (3) 申込み内容に虚偽の記載又は不十分な記載がある場合
- (4) 死亡又は本サービスを利用することが困難と本学が判断した場合
- (5) 利用者本人が別途定める利用停止手続きを行った場合
- (6) その他本学が本サービスの利用を解除する必要があると判断した場合

（ 本サービスの所掌部署等 ）

第 15 条 本サービスのシステムに関する事項は、情報システム課において所掌する。

2 本サービスで保持している個人情報（学籍番号および氏名（卒業・修了時点））のみである。